

東京23区探索徒歩の旅

【6】大田区

2014年4月27日(土)
折笠公德

【1】	はじめに	1月1日(水)
【2】	足立区	2月1日(日)
【3】	荒川区	3月23日(日)
【4】	板橋区	3月30日(日)
【5】	江戸川区	4月19日(土)
【6】	大田区	4月27日(土)
【7】	葛飾区	4月
【8】	北区	5月
【9】	江東区	5月
【10】	品川区	5月
【11】	渋谷区	6月
【12】	新宿区	6月
【13】	杉並区	7月
【14】	墨田区	7月
【15】	世田谷区	8月
【16】	台東区	8月
【17】	中央区	8月
【18】	千代田区	9月
【19】	豊島区	9月
【20】	中野区	10月
【21】	練馬区	10月
【22】	文京区	11月
【23】	港区	11月



1. 旅前の大田区の印象

大田区は小生にとって比較的馴染みがある。蒲田と言うと人情味があって、ちょっと雑然としていてどこか下町の印象がある。大森はいすゞの本社があって、数十回行っておりお付き合いが濃い。羽田空港は学生時代からとても好きな場所である。一点特記事項は、田園調布が大田区にあることを知らなかった。てっきり世田谷区だと思っていた。いずれにしろ、高級住宅街には縁遠く、今回

2. 大田区紹介

区の大部分を占める平野には市街地が広がり、ビルやマンションなどが立ち並ぶ。京浜運河より東側は埋立地となっており、物流拠点や工業団地がある。野鳥公園、海浜公園等が整備されている。池上通りより西側は丘陵地帯となっており、緑も多く畑なども目立つが、広範囲にわたって民家が広がっている。丘陵地には臼田坂、蓬莱坂など名称を持つ坂が約50ある。地名の由来は合併した大森区と蒲田区からそれぞれ一文字ずつとった合成地名である。

3. 今回の大田区徒歩の旅

1) ルートと全体概要

(1) 往路

大月駅 → (中央本線) → 新宿駅 → (山手線) → 渋谷駅 → (東急東横線) → 田園調布駅

(2) 徒歩の旅

田園調布駅 → 沼部駅 → 多摩川沿い → 下丸子 → 池上本門寺 → 蒲田 → 羽田 → 弁天橋 → 大森ふるさと浜辺公園 → 平和公園 → 平和島 → 大森駅 27km

(3) 復路

大森駅 → (京浜東北線) → 東京駅 → (中央本線) → 大月駅



2) 徒歩の旅 ドキュメント

4時44分

起床。

猫のあくぐりと爽やかに起きる。

外はもう明るい。気温5°Cで春だというのに早朝は寒い。

今日は、東京23区徒歩の旅の5回目、大田区に行く。

朝食は、おにぎり大、ミニメンチとミニコロッケ、ポテトサラダ、わかめと卵の味噌汁、紫の野菜ジュースで栄養補給。

家内に大月駅まで青い折笠プリウスαで送って貰う。
いつも早朝ありがとう。今日の夕飯は御馳走します。
(ただし、次男のおごり)

5時37分

東京行中央特快は大月駅を出発。

連休2日目だというのに空いている。

小生は残り休みが8日もあると思うと気分はルンルン。

途中、岩殿山、百蔵山、扇山が朝日を浴びてきらきら輝いていた。

都会も良いが、山も良いなあ。

コーヒーを飲みながら今日のプランをパソコンで確認。

7時20分

東急渋谷駅。

地下鉄副都心線の乗り入れにより、東武線、西武線、副都心線、東急線の車両が次々にやってくる。

小生、東武線の車両で特急元町中華街行に乗る。

が、なんと特急は田園調布に止まらない。

一つ手前の自由が丘で普通電車に乗り換えが必要となる。

7時38分

田園調布駅に到着。初めて降り立つ。
オシャレ～！ 高級～！ 雰囲気がある。
落ち着いた気品がある。
さすが、日本を代表する高級住宅街である。



田園調布駅

7時42分

出発。線路沿いに行く。
歩いている人もお上品、犬も何故かお上品。
どの家も高級感が漂っている。
街並みのツツジがとても綺麗。
特急電車が止まらないのは納得いかない。



田園調布の街並み

7時53分

多摩川駅に到着。
ここで、駅前から大田区立田園調布せせらぎ公園に入る。
自然豊かで、とにかく静か。つつじが綺麗に咲いている。
太極拳をする人、ウォーキングを楽しむ人(含む小生)
親子でキャッチボールをする人等々。



田園調布せせらぎ公園

8時03分

公園を抜けると再び
高級住宅街に入る。
田園調布1丁目、
YASIROさんの家 素晴らしい。



YASIROさんの家

8時07分

多摩川に出る。丸子橋通過。
ここから、しばらく川沿いを歩く。
多くの人たちが、ランニング、ウォーキング、
サイクリングを楽しんでいる。
日曜日の朝、景色がのんびりしている。
対岸に川崎の高層ビル群が見えている。



丸子橋

8時20分

多摩川の雄大な景色が続く。
花も綺麗である。



多摩川と川崎の高層ビル

8時30分

野球場、サッカー場が多くある。
皆、一生懸命で、良い汗をかいている。
何事も手を抜かず一生懸命やるのが大事ですね。
見ていて気持ちが良い。
小生も一生懸命、汗かいて歩かねば。



野球場、サッカー場

8時40分

緑の木々の木立を抜ける。
暗めのグリーンに何となく感傷的になる。
物思いに更けてしまう。



暗めにグリーン

ガス橋が見えてきた。

8時45分

ガス橋の多摩堤通りに左折する。
下丸子2丁目、ここも桜の木立が綺麗である。
鮮やかなグリーンに活動的になる。
人の心って、色に左右されますね。
キャノンの大きなきれいな工場が続く。
完全に周囲の環境にマッチしている。お見事。
街中はゴミは全く落ちていない。



鮮やかなグリーン

8時55分

東急多摩川線の踏切を通過。
この辺はまだまだ踏切が多い。
次に環八通りを横断する。



環八



東急多摩川線の踏切

9時10分

今度は、国道一号線第二京浜に入り、
しばらく道沿いに歩き、池上本門寺を目指す。
街中の景色も変化に富んでいる。

9時25分

地下鉄浅草線終点の西馬込駅付近を通過。
普段葛飾の実家へ行く時お世話になっている地下鉄は
どの様な所が終点かといつも思っていた。
なるほど。何事も考えてばかりではなく、現地現物も大事。



池上本門寺

9時35分

池上本門寺着。
山門が、しっかり参拝者を受け止めている。

ここで紹介

『弘安5年(1282年)9月8日、病身の日蓮は身延山を出て、湯治のために
常陸(茨城県)へ向かう。
9月18日に武蔵国池上郷(東京都大田区池上)の池上宗仲の館に到着。
生涯最後の20数日間を過ごすこととなる。
同年同月に、池上氏館の背後の山上に建立された一宇を日蓮が開堂供養し、
長栄山本門寺と命名したのが池上本門寺の起源という。
同年10月13日に日蓮が没すると、池上宗仲は法華經の字数(69,384)に
合わせて六万九千三八四坪を寺領として寄進し寺院の基礎が築かれ、以来
「池上本門寺」と呼びならわされている。』

本堂は均整の取れた立派な姿をしている。

五重塔も素晴らしい。

とても静かな寺院である。



9時42分

隣にある大田区立池上会館屋上より蒲田方面を望む。
絶景である。しばらく大田区の様子を観察する。
その後、エレベータで一階へ、一階はレストラン、
郷土品お土産、その他があり、たいへん充実している。



大田区立池上会館

10時40分

駅中を横断して東口へ。
なんと、駅隣に大田区役所の立派なビルがある。
区制の中心地は蒲田にあり。
ここから京浜急行蒲田駅へ向かう。



大田区役所

10時55分

路地裏で蒲田消防団が訓練をしていた。
基本動作に忠実で、機敏に動いている姿は気持ちが良い。
蒲田行進曲を思い出した。
さすが蒲田、女優の松坂慶子の様なきれいな団員がいた。
(どこ見てんの?)



蒲田消防団

11時02分

京急蒲田駅着。
羽田空港線への接続高架線新設により凄みがでた。
横浜からの電車はここでスイッチバックする。
京浜急行の主要輸送力が羽田空港に変わった。
蒲田駅は京浜急行にとって最重要拠点駅となった。



京急蒲田駅

11時07分

京急蒲田駅そばに呑川が流れており、橋の名が夫婦橋。
良い名前ですね。お酒を呑んで夫婦円満って感じですかね。
粋な名前ですね。



さて、ここから京急羽田空港線に沿って本来の羽田の
街並みを探訪する。



京急羽田空港線沿線

11時23分

京急麴谷(こうじや)駅着。
西麴谷商店街の中に駅があり、
小さ過ぎて見逃してしまった。
街は下町そのものである。



京急麴谷駅

昔懐かし、駄菓子屋があった。
小生、駄菓子で大きくなった様なもんだ。
懐かし過ぎて、涙...



駄菓子屋

11時30分

神命大神宮 天照大御神
ちょっと怪しい感じ。



神命大神宮

その後、環八通りを通過。
さすが、主要幹線道路。



環八

11時41分

京急大鳥居駅通過。
立派な地下駅になっている。
どこに大鳥居があるのだろうか？



京急大鳥居駅

街は近代化されていてビル群が並ぶ。
SEGAの本社、お洒落なビルがある。
ホテル東横イン羽田空港点があるが、ちょっと(だいぶ)
空港まで遠くない？

11時54分

立派な施設有。その名はヤマト羽田クロノゲート。
ここは、陸海空のスピード輸送ネットワークと高付加価値機能を
一体化した、ヤマトグループ最大級の総合物流ターミナルである。



ヤマト羽田クロノゲート

11時57分

京急穴守稲荷駅着。
またまた、庶民的な下町に逆戻り。
小生、この方が落ち着く。
ここは羽田4丁目。



京急穴守稲荷駅

12時05分

穴守稲荷着。

ここで紹介

『文化元年(1804年)の新田開墾の折り、海が荒れて
沿岸の堤防が決壊し、村々は海水による甚大な
被害を受けた。
村民が堤防の上に祠を勧請し、稲荷大神を祀ると、
海が静まって大きな実りをもたらした。
これが穴守稲荷神社の起こりとされている。
穴守という名の由来は、堤防に開いた穴の害から
人々を守るという神徳にちなむ。』



穴守稲荷



とても静かなところ、ほとんど人がいない。

近くに銭湯あり、粋ですね。



銭湯

12時16分

ついに羽田空港近くの弁天橋にきた。
一度、訪れたい所だった。
橋と鳥居と海と空港、何とも言えないコントラスト。
太鼓の音? なにやら地元の人たちがイベントを
やっている。
御餅をついていて、観光客に振舞っている。旨そう~。
小生、納豆餅をいただいた。ビールもいただいた。



海を見ながら乾杯~。
海の匂いがする。最高~。

あさり取り?の漁師がいる。
遠くに漁船がいる。
これが本来の羽田の姿なのかもしれない。



近くの羽田空港から1~2分毎に旅客機が離陸、
着陸している。
羽田空港の面積は大田区の1/3もあるそうである。

弁天橋



12時32分

出発。整備場横を縦断する。

地下天空橋駅を通過。ここにあったのか?
周りは何もない。降りる人はいるのかな。
川でボートの行進に遭遇、かっこい~。



京急天空橋駅



ボートの行進

12時45分
整備場駅を通りモノレールが地下に入る地点。
いつもモノレールの中から見えていた景色が逆となる。
とても新鮮。
やはり、物事両面から見る必要がありますね。



地下に入るモノレール

13時10分
空港に平行して歩いている。
呑川を渡る。
完全に海の気配。漁船やクルージングボートが停泊している。
ここは大森南4丁目。
記念にヤマザキコッペパン(マーガリン&つぶあん)を食べる。
ナット餅だけでは足らぬ。



船の停泊所

中小企業の町工場が多くある。ものづくりの大田区。
八百屋さんもある。
ここは完全に下町である。

13時45分
ここは大森1丁目。



大森1丁目



八百屋さん

13時47分
大森ふるさと浜辺公園着。
うわ〜。砂浜だあ。ほんと久々。
親子連れが砂で遊んでいる。水際で水遊びをしている。
平和だなあ。
向うに京浜島が見えている。
飛行機が着陸している。
しばらく、ここで物思いに更ける。

大森ふるさと浜辺公園



14時05分
JR大森駅に向けて出発する。
平和の森公園&平和島公園内をゆっくり散歩しながら進む。
水遊び楽しそう。フィールドアスレチックも楽しそう。
噴水での水浴び気持ちよさそう。
子どもは外で遊ぶのが一番。
大人は？ 大人もそうでしょ。

平和の森公園



14時45分
平和島競艇通過。
レース中、エンジン音が心地良い。
結構スピードが速い。
おもしろそう。
大人は外で遊ぶのが一番。
ただしギャンブルはソコソコに。



平和島競艇場

15時00分
大森の街に入ってきた。
静かな良いところである。

おっ大森ベルポート、いすゞさんの本社ビルだ。
ここには、何十回と訪れている。
いすゞには、自工会で知り合った多くの友人がいる。
ベルポートの中も立派。
大企業本社ビルはこうあるべき。うまらやしい。



大森ベルポート



15時03分

ついにゴール。大森駅。

7時間20分、27km。

今日はあたたかい太陽の日差しを浴びて良く歩いた。

適度に日に焼けて、心地よい疲れもある。



大森駅

大田区徒歩の旅、非常にバラエティー富んだ貴重な経験ができた。

初めて訪れた所に関心し、何度も訪れたことのある所には、

別の一面を見ることにより感心した。

2週間後に沖縄出張で羽田空港を訪れることになるが、もう一度ゆっくり電車の中から大田区の景観を楽しみたいと思う。

19時30分

四方津のJA直営イタリアンレストランで家内と次男とお食事。

呑川の夫婦橋を思い出す。

お酒を呑んで夫婦円満って感じですかね。家内は呑めないけど。

3)トピックス

(1)羽田の漁業

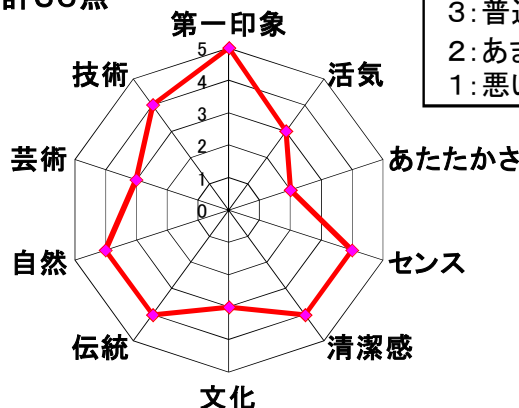
羽田はアナゴ漁を中心に沢山の魚介類が取れる良質な漁場だった。神奈川の生麦や子安、千葉の浦安などと同じく周辺の開発と工業化で海洋汚染が深刻になり、漁師は相次いで漁業権を放棄。

4. 旅後の大田区の印象

1)評価

評価項目		点数
主観的評価	第一印象	5
	活気	3
	あたたかさ	2
	センス	4
客観的評価	清潔感	4
	文化	3
	伝統	4
	自然	4
	芸術	3
	技術	4
合計		36

大田区
合計36点



点数
5: 良い
4: まあ良い
3: 普通
2: あまり良くない
1: 悪い

2)全体を通して

大田区は23区で一番広い区だけあって全てにおいてバラエティーに富んでいた。

田園調布の高級感。

多摩川のスポーツ感。

羽田付近の下町風情。

羽田空港の国際性。

大森海岸の砂浜。

平和の森公園の子どもたちの嬉しそうな顔。

5.自身思っていることに対するフィードバック

1)23回/年の徒歩の旅は、回数的にも大きなチャレンジとなる

→4月下旬なんとか回数を取り戻した

やはり23回は時間の確保が大きなチャレンジとなる。

2)最新のモバイルパソコン導入により移動中の生情報ブログ作成にチャレンジする

→マイクロソフトXPから8.1は、だいぶ慣れてきた。

(3)有言実行、周りにやるぞと言ってしまった、もう逃げられ帰らない

(ただし、移動中のブログ作成の中で、帰りは飲んでしまうので勘弁下さい)

→うまく、自分をコントロールしている。

(4)田舎のおじさんは少しは都会的センスが磨かれるだべか

→大田区の田園調布で磨かれてきた。

(5)自分なりの日本の心を構築していく

→日本の心が何となくわかってきた。